

刊夕日七廿月一十

# 常警每日新聞

定価 一月五圓 三月十五圓 六月三十圓 一年六十圓  
廣告料 五號十二字 第一行五圓 五號以上 第一行十圓  
日曜祭日の翌日休刊  
発行所 常警毎日新聞社 東京市本町三丁目  
電話 六二〇〇  
印刷所 常警毎日印刷株式会社

## 信仰身の上相談

眞 繼 雲 山

死ぬのがイヤで  
なりません

【問】只今の私はこれぞと  
いつて何不自由はないこと  
ですがそれがつけつけと  
ツタ一つ気がかりなこと  
は、死の問題です。斯ふ  
しておまして一たび死  
の問題に考へ及ぶとき死  
ぬのがイヤで／＼なりま  
せん。丸で身も世もあら  
ぬ思ひです。誰だとして死  
ぬのが好きといふ人はな  
いでせうか、健康なくせ  
に近頃の私は、その考へ  
方が丸で病的なのです。  
今後廿年三十年生きてあ  
られるにせよ、結局死な  
ねばならぬのだと思ふと  
き、その二三十年が全く  
無意味であるのみか、こ  
の世に生れて来たことの  
全體がウソのやうな意味  
のない話に考へられまし  
て生きてゆく力さへあり  
ません。佛敎を信仰した  
ところで、結局、死ぬる  
といふに變りはないので  
信仰も未だ以て私の苦惱  
を救ふてくれるに足らな  
いと考へるのです。死な  
ぬ工夫も、不死の悟りも  
要するにそれは言葉の遊  
戯であつて結局は死なね  
ばならぬのでありませ  
んか、果して然りとすれ  
ば遊戯に我れを救ふに足  
らず、眞剣にもだえてお  
る私の煩悶を解決して下  
さい。因みに、肉體は死  
んでも精神は死なぬのだ  
といふやうな説明も冷や

【答】佛敎は對機説法と申  
しましてその人の程度に應  
じ、その苦を抜いて樂しみ  
を興へるつまり幸福を興へ  
たいといふ慈悲の教であり  
ますから、相手の如何によ  
つて言葉は如何やうにも岐  
れます三原山さして行く人  
あらばオイ／＼ちよつと待  
つた、死んで花見が咲くも  
のかと教へます。又あなた  
のやうな「死にとうない」黨  
には、この世は假りじや眞

かな今の私としては首肯  
いたし兼ねます。  
（不死を願ふ男）

人生は假りの花  
なり（上）

### ノート

毀れた瀬戸物を  
ぎ合はせ  
るには絹緋にかけて石灰粉  
を鶏卵の白味で煉つて用ひ  
るとよい

實の世界は別にあると説き  
ます。その眞實の別の世界  
こそは佛界でありましてそ  
こは永久死なぬといふ結構  
なところ、あなたの志願し  
てゐられる理想境でありま  
す。この世が、假りだとい  
ふのが空論、この世が實だ

義であります。つまり常な  
くして流れてをる、それで  
あればこそ次ぎ／＼に假り  
の有が現れるので、この有  
無が循環するのが圓融であ  
り、妙々であります。  
石に花が咲かぬのは、石  
は生きてゐないからです。  
草木には壽命があるから結  
局死にますが、枯れたあと  
には實があつて次ぎの生が  
あらはれる。  
實は花の咲くによりて得  
られる、花は假りであるゆ  
へ草かんむりにおぼけの化  
といふ字を書きます。私達  
を草木とすれば人生はさし  
むき花であります。この花  
が千年も萬年も咲き通して  
枯れないとすれば御當人は  
結構でせうが、それでは石  
のやうなもので後の妙有と  
いふものが出て来ません。  
（つゞく）

【朝】煎り豆腐——煎豆腐  
もみのり

【晝】わん——えび天ぶら  
ほうれん草（すまし  
仕立）

【晩】五目飯——焼くわ  
笹がさごぼう 油揚

は何一つないのですから實  
有だとも言へずつまりは有  
無をはなれて空假中の三つ  
が程よく調和して出来上つ  
てゐるのがこの人生であり  
ます。

そこでああなたのやうな有  
に執着してゐる人に對して  
は反對の空觀を高調して有  
執の迷妄を破することが出  
来るならば初めてあなたの  
幸福が現成するのでありま  
す。佛敎ではよく空といふ  
ことを申しますが、空とは  
何んにも無いといふ意味で  
はなく、空とは無常遷流の

【一白】金錢問題に苦勞のあ  
る日又營業上遠方より吉報  
の来る事あるも用意周到な  
らざれば損をする東西凶  
【二黒】病氣怪俄紛失盜難の  
心配ある日なれば萬事に  
注意未申丑寅凶【三碧】營業  
上多忙を極め其の効無く不  
平の日なれと忍耐すれば後  
日吉南北凶【四綠】營業多忙  
にして損を來す事あれば印  
形書付と水火の難に注意南  
北凶【五黃】病氣怪俄紛失盜  
難に注意して退守るに吉未  
申丑寅凶【六白】金談縁談望  
事皆進で吉但し猛進は凶東

西（七赤）金談縁談望に目  
上賢者の應援を得て吉利の  
ある日戌亥と辰巳凶【八白】  
運氣滞滯の凶日なれば病氣  
争論に注意して退き守るに  
吉【九紫】我望事に意外の利  
を得る事あり然し官事の件  
に注意戌亥と辰巳凶

## 市原醫院

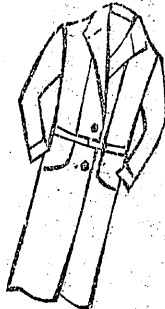
平町田町  
電話一四番

## 女學生オーバー特價提供

今冬流行のオーバ

色は何れも 紺と茶 生地仕立  
充分吟味して御座います。

オーバ 6<sup>円</sup>80<sup>銭</sup> (2尺5寸)ヨリ  
ケーブ 4<sup>円</sup>40<sup>銭</sup> (2尺4寸)ヨリ



御買上の方に  
電氣スタンド進呈

十二月十五日までに女學  
生オーバーケーブ及中學外  
套御買上の方六拾名様に  
抽籤にて進呈

ふかや洋服店 三三三番  
電話二〇三

## 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科  
平町田町 電話五二三番

## 内科一般

醫學博士 難波 睦

平町大町新川端  
電話五〇二

## 外科

門 專 光 X  
科 線 科  
上田外科醫院  
平町南町  
電話一二九番

## ビノサン

鼻病、腦病  
化學治療藥  
小壹圓貳拾錢、中貳圓、大五圓  
蓄膿症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡  
單にして他に類の無い一日一回の用藥で手軽に  
僅かな費用で治療の出来るビノサンが發表され  
ました今すぐ用て劃期的快癒の喜を得て下さい  
御來店の方に鼻病説明書無代進呈此廣告  
御持參の方に一人一回試藥致します

石城郡特約店 村山書店  
販賣御希望の方特に御相談に應ず

月曜 是非

尊い美の絶對境

過日筆者は某村小學校に開催された敬老會に招かれ一席の長廣舌を揮ふ機會を恵まれたので、晩秋の陽光を浴びながら學校の正門をくぐり立關先に立つた、

立關の入口は石段になつて居るので一寸老人達の昇降には困難を感ぜられるといふ學校當局の細かい心づかひから、一人の老人には必らず一人の女生徒が附添つて、優しく手を曳きながら、先生方の指圖を受けつゝ會場の方へ案内して居るのであつた、私は此の美しい情景に夢からず心を打たれて、其場に暫く立止つた

そして演壇に起つた私は話すべく用意して来た腹案を悉く打捨てしまひ、いま目撃した實感について語り始めて仕舞つた。

凡そ實社會に於いて何が最も美しいか尊いかと云ふに、子供に優しく手を曳かれて安らかに歩む老人の姿より以上のものはない。子供は子孫の即ち未來の生存的代表者であり、老人は祖先の即ち過去の生存的代表者である。

んと尊い美の絶對境ではないか、如何に偉大なる藝術家の作品としても、この自然的な一如の姿の前には遠く及ぶまい。

また子供は清く朗らかにして、純真そのものであり

防火宣傳の

磐女展覽會賑ふ

入賞者氏名

磐女では目下去る十五日の防火宣傳デーに際し全校生徒より募集した防火宣傳ポスターの展覽會開催中であるが係教諭審査の結果入選者は左の如く決定された

- (一年)草野ヨシエ 有坂満子 立花キミ 芹澤節子 遠藤スエ 片野セツ子 武田初枝 會田初子 飯島シゲ 野口信子 佐々木ユキ 土屋シヅ 長谷川好江 森久子 瀬谷良子 高橋敏子 木田カク

- ヨ 江尻シゲ子(二年)野木鏡子 萩原次子 佐藤チヨミ 小野すみ 箱崎綾子 渡邊ヨシ 鈴木泰子 中川ちよ 齊藤和子 太田由子 岡田浪子 山崎キヨ 新妻ヨシ子 吉田イネ子 鈴木静枝 新妻サタ子 松本美代 齊藤喜代子 松田貞子 峯房子 鈴木キヌ子 長谷川公子 關昌子 小野とく 永山てる子 海老原信子 藤田順子 直井ユキ

老人は優しく温き親切心の持ち主である、されば、純真は——清淨、老心は——慈悲、この二つの交流して不二なる處に社會淨化の強く大きな働きを見るであらう。



巷の話題

秋もだん／＼深んで行くて寒さが一しほ身にしみて來ると子供たちの遊び場は自然インディアへと狭ばめられて行く

今日も典子(六)さんは湯鍋のかゝつてある爐邊で可愛い兩手をさし延べて暖をとつてゐたが兄さんの次男(八)さんと弟の重美さんが相撲を取り出し残つた／＼と四つに組んだが典子(六)

に倒れかゝつたので典子(六)はその勢ひで燃え盛る爐の中に轉落頭から熱湯を浴び腹部に大火傷を負つて痛ましい最後を遂げた、残つたものは骨ばかりと親御さんは嘆き悲しんでる——岩手縣嚴美村から

亡靈よ出てくれ 名古屋第二のピストル事件の被害者山口俊雄君の兄の好太郎さんは夢枕に立つた弟の亡靈に導かれて指示された犯人は夢の家と

臨機應變の處置 今、聯隊區司令官は

青訓生を集めて熱心に訓示してゐたが、そこへ飛行機が飛んで來たので一人見、二人見して司令官の話は上の空、トッセン「頭ア上ヘッ」 さて戰國機と偵察機の相違は……と實物について我飛行機の威力を滔々説き出したので司令官はどあつて戦術は御手のものだな」とほめること

秋田大曲から 縣三條町齊藤作下

平職界紹介所報告 回人を求める方

平町の早慶戦 警中善戦して 平商を撃破す

既報平町の早慶戦を以つて目され人氣の注點にある警中對平商の野球戦は昨日午前十時より警中球場に於て

石坂球審の下に警中先攻にて開始兩チーム共新人の意氣を示して緊張味あるプレーを見せ先づ一、二回戦共

平職界紹介所報告 回人を求める方

- キ 遊佐フチエ 大塚照子(三年)正木キミ 戸石糸子 佐藤勝江 田崎タミ子 岡田澄子 芹澤藤子 坂本清子 飯田文子 玉部ヒデ 長谷川シヅ子 山田 中世 安齊泰 馬目喜矢 飯田カツ 青木ミヨ 村岡文枝 渡邊ミサ 元吉ヨ子 三瓶タカ 赤塚千代子(四年)佐藤榮子 相澤チヨ 代千代子 荒木重子 鈴木綾子 平井貞子 江尻キ子 林橋トク 大平品子 森英子 立花昌 大和田富貴 郁高原美代 松本勇美 松

本孝子 鶴沼スサヨ 吉田静 菅門傳倫子 鈴木秀子 鈴木とし 筒井米子 芳賀子

縮切を前日に 既報来る十二月三日平第一小學校グラウンドに於て開催される郡下小學校教員籠球大會の申込みは締切りの本日迄警中、小名濱、平第一、第二、第三の五校のみなので締切りを前日迄延期し組合せ其他試合に關する打合せは當日行ふ事になつたと

分團對抗野球 三丁目が優勝

に兩者得点なく大接戦を豫想せしめて觀衆の手に汗を握らしめたが俄然三回戦に入つ警中軍良く打ちまくつて一塁三塁を先取平商側挽回に努めたるも遂に及ばず僅か三点を盛返したのみで引續ぎ五点を許し結局八對

三のスコアにて警中軍大勝した固に戦績は左の如くである

Table with 2 columns: Team, Score. Rows: 警中 0032001118, 平商 0001011003, 一二三四五六七八九對

土木委員協議 平町では来る廿九日午後一時より役場會議室に土木委員會を招集し左記を協議すると

# 虎眼検診

## 來月四日から

既報平町では全町のトラホ ム診断を行ふべく準備中 であつたが期間を來月四日 より十三日迄と決定したが 診断は左記の通り各擔任醫 師方で行ふ事になつたと	七日	銀冶町	吉田
	八日	久保町	鈴木
	九日	南白銀	新妻
	十日	北胡	賀澤
	十一日	北幡小路	鈴木
	十二日	北幡小路	鈴木
	十三日	北幡小路	鈴木
	十四日	北幡小路	鈴木
	十五日	北幡小路	鈴木
	十六日	北幡小路	鈴木
	十七日	北幡小路	鈴木
	十八日	北幡小路	鈴木
	十九日	北幡小路	鈴木
	二十日	北幡小路	鈴木
	二十一日	北幡小路	鈴木
	二十二日	北幡小路	鈴木
	二十三日	北幡小路	鈴木
	二十四日	北幡小路	鈴木
	二十五日	北幡小路	鈴木
	二十六日	北幡小路	鈴木
	二十七日	北幡小路	鈴木
	二十八日	北幡小路	鈴木
	二十九日	北幡小路	鈴木
	三十日	北幡小路	鈴木

# 通學兒童の 區域を變更

## 收容難を緩和

既報平町では去る廿五日午  
前十時より會議室に學務委  
員會を開き明年度より第三  
小學校に通學する兒童の區  
域變更に於いて協議せる結  
果平町前新通りより折半し  
て即ち東部方面鐵道官舎  
南白銀、四丁目、南町、大  
町の兒童は明年度より第三  
小學校に通學する事とし第  
一、第二兩校の收容難を緩  
和する事に決定兒童數左の

## 書道展に

### 磐女生入賞

磐女校にて過般福島市に於  
て開かれた福島書道振興會  
主催第五回書道展覽會に出  
陳左の如く各生徒入選本日

夫々賞狀を授けられた因に  
三年の小田部タタさんは特  
選の譽れを擔つたと  
二年長谷川公子 同根本  
久子 三年土居瑞枝 同  
小田部サタ

## 印刷物の 値段協定

### 平町に同業 協議會生る

平町に於ける印刷業者廿餘  
名は廿五日午後五時から松  
本樓に參集同業者の懇親を  
圖り斯業の刷新に努むべき  
目的を以て平町印刷同業協  
議會を組織し各種印刷物の

## 二七銀貨現る

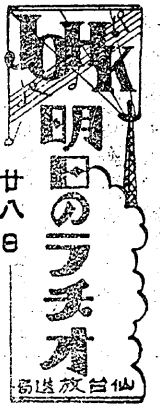
### 軽い五十錢玉

小名濱町海岸軌道會社自動  
車部助手二方清(ハ)は昨廿  
六日午後四時頃自動車賃の  
勘定中普通の五十錢銀貨よ  
り幾分大きく目方の軽い五  
十錢玉を發見し二七銀貨で  
はないかと平署に届出したの  
で同署では直に日本銀行に  
送つて鑑定方を依頼した

## 女性會議

### 平町下準備

平町人會及び女子青年團で  
は明日午後二時より平第二  
小學校に於いて幹部會を開  
き既報本縣女性運動協議會  
の下準備に關し記念品贈呈  
其他を種々打合せをするが  
協議會當日の平町側意見發  
表者は左の如くであると



今晩は南東の風明  
日は北西の風天氣  
良くなる

## 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間  
お話「燈の歴史」江馬務  
後六、二五 英語講座(四  
の四)渡邊半次郎  
後七、三〇 講演「福建の  
獨立と支那政局の動き」  
陸軍中將 高田豊樹  
後八、〇〇 合唱「競演合  
唱祭入選團體」男聲合唱  
林雄一郎 指揮 關西學院  
グリーククラブ

値段を協定即時實行する事  
となつた

## 郡下兒童が 朗かに歌ふ

### 千五百餘名出演

來月九日平第二校に

(婦人會)會我和嘉 有馬  
秀子(女子青年團)門傳キ  
ミ 石川貞子

## 石城醬油 販賣統制

石城醬油醸造組合では去る  
廿五日午後二時より住吉屋  
本店に於いて總會を開き販  
賣統制に就いて協議した

## 簡易水道

### 江名町計劃

江名町では去る廿五日午前  
十時より町會を開き簡易水  
道敷設並びに大字神白地内  
道路改修工事實施等を附議  
しいづれも可決された

後九、三〇 時報 ニギ  
ス氣象通報 番組環  
明日の部  
前七、〇〇 基礎獨語講座  
(三十)橋本忠夫  
前九、一〇 料理献立「白  
菜と鰯のカレー煮」朝倉  
長吉發表  
前一一、三〇 家庭講座  
「メッシュワーク」小林廣  
子  
後〇、〇五 俵節 一俵節  
外數種 中島壽照ハ  
モニカ合奏「日没の島」  
ワイ民謡川口章吾  
後二、〇〇 家庭講座「箏  
のお稽古」村田松泉  
後五、三五 受験講座「英

文解釋テキスト」  
後六、〇〇 子供の時間  
宗教童話「親慈さ」勸業  
津  
後六、二五 基礎獨語講座  
(二十一)目黒三郎  
後七、三〇 講演「誤られ  
たる癡病の諸迷信」醫學  
博士 笠原登  
後八、〇〇 ラヂオドラマ  
ヤッパ 島物語友田泰助  
外大勢  
後八、四〇 義太夫「双蝶  
」曲輪日記引窓の段」竹  
本相生太夫秋の言葉  
後九、〇〇 俵節「追分節  
競演會」(第三回)芳賀春  
洋

## 物騒な 「エロ狂」

### 監置の命令

湯本町字八仙三八居住長四  
郎弟佐藤長吉(ニ)は強姦罪  
に依り四年の刑を終へて本  
年九月廿六日福島刑務所を  
出て以來前記實兄方に世話  
になつて居たが最近では病  
的エロ狂となり終せ附近の  
娘達を追ひ廻したり物干の  
腰巻を盗んだりするので平  
署は近く精神病者として監  
置せしめる事になつたと

## 石鳥居と架橋に 千六百圓を寄附

### 機關庫を退職した記念

神谷村字中神谷箱崎壽吾氏  
(五)は此程卅年間勤続せる  
平機關庫を退職として千六  
百圓を投じ同村の出羽鹿島  
兩郷社に御影石鳥居及び夏

- 既報來る十二月九日午前十  
時より平第三小學校講堂に  
於いて開催される第五回郡  
内各小學校兒童唱歌會の出  
演兒童は二十五校千五百餘  
名にて目下各小學校共係訓  
導指導の下に齊唱、合唱、  
獨唱、遊戯等々全力を擧げ  
て練習中である出演申込み  
校は左の如くである
- 平第一 第二 第三 泉
  - 赤井第二 内郷第一 第
  - 二 第三 内郷尋高 四
  - 倉 高久 錦 大野 神
  - 谷 勿來尋常 同尋高
  - 湯本同 入山 草野 好
  - 間 大浦 夏井 植田
  - 小川 平窪

産業登記事務 石城  
郡産業組合登記事務講習會



# 銘劍秘又録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第九十九回 徳川家に崇る村正

御供を返す理由は

竹千代君殿に向ひ

大「今母の云ふ事を何卒聞  
いて下さいまし、只今の世  
の中は親子兄弟鎧を削り親  
子敵味方となつて、夕の味  
方は朝の敵、今日あつて明  
日命のあるのを不思議に思  
ふ位、されば夫婦の縁とて  
も定め兼ねたる世界故、妾  
は只今お家の爲め國の爲め  
又己むを得ざる儀によつて  
縁切るとの大殿のお言葉御  
道理に存する故今日去られ  
て刈谷へ歸ります、され  
ば和子とも永き別れ悲しい  
事は千萬無量であります  
今も政親殿の申すには、岡  
崎殿懇ろのお言葉に、義に  
よつて夫婦の縁は切れども  
竹千代と親子の間までは切  
れぬとの事、お言葉を樂し  
みに行末永く、何れにか廻  
り合ひますることもありま  
せう、此母も面白からぬ憂  
き年月を命大事に永らえて  
御身の成長をば蔭ながら祈  
り参らせる程に、御身も亦  
此事を合點して御成長の其  
後は、上天子へは御誠忠何  
卒一國を安穩に納め民百姓  
を撫育して數度の戦さに切  
勝つて名を後生に揚げ、  
其事ばかり頼みでありませう」

竹千代殿、お名残はつきま  
せんが是にてお別れであり  
ます、どうぞ身体を大切  
にして下さい」  
抱きよせて返らぬ愚痴を  
並べ給ふは、健氣なやうで  
も女性の常、頑ななき竹千  
代丸も、母の膝を放れるの

政親も、貰ひ涙を溢します  
る位、然し最早正午の程に  
はお迎ひの侍共も伺候せん  
粗末には候へども正午の御  
飯を取認めて置きましたれ  
ば、若君様と御一所に召上  
り下さらば、政親の本懐の  
至りに存じまする」  
大「オ、政親、心をこめて  
言葉、此岡崎の別れとして  
和子と一諸に晝饗を取認め  
ませう、イヤナニ馳走にな  
りませう」  
政「然らば膳部を此へ」  
と取出したる所の膳部、  
竹千代殿と諸共に、お食し  
終つて彼是致して居る中  
にお迎ひとして金田惣八郎政

付られてお髪を撫附化粧付  
は致さねども、清き所の小  
袖を召替られ、政親に懇に  
お暇乞ひを致され、尙同人  
の妻、是まで御介抱を申し  
上げたる女子供へそれごと  
くお別れを告げ給ひまして力  
なく立つて玄關の御輿に乗  
り移り給ひ、此時竹千代殿  
は乳母を抱いて門外へ出て  
御別れを告げ給はれとの事  
斯くてあるべき事にあらざ  
れば、遂に三州岡崎を後に  
して御實家岡崎谷を指し  
て御輿を急がせまする、岡  
崎より刈谷までの間は何の  
道を行つても六里に足らな  
い所でございます、尤も現  
今の道と往昔の道とは違つ  
て居る所もありませんが、約  
三里程も来ると御輿の中よ  
りお聲をかけ、コレ、侍  
共、此處は小川と云ふ所  
ではないか  
侍「仰の通り小川領にて候  
何か御用にて候か」  
すると御臺は

に於いては  
金「這は何事にて候か、我  
我共は岡崎より致して上意  
を被り刈谷城まで恐れ入り  
ながら滞りなくお送り届け  
申し上げお引き渡し終る迄  
守護致さなければ相成らん  
所の主命、然る所道の半ば  
程来つて小川領に於いて難  
人輩までお暇を賜はると云  
ふは最も不思議千萬のお言  
葉、然し尊命とあらば是非  
に及ばざれども、思召しの  
程解し難く一應ひ上げま  
す事にございます」  
大「サア其の事は其方共の  
不審も道理であるが岡崎へ  
引き返して呉れと申するに  
は聊か譯がありまする」



が忌やさに、其の日に限つ  
て頻りに別れを惜しみ給ふ  
御様子鬼を欺く豪傑酒井雅  
樂宗之助政親も  
政「最前よりの御様子、千  
萬無量のお悲しみ、心な

重、阿部四郎兵衛定次、侍  
三十餘人、足輕二十人最も  
美麗なる御輿物一輛酒井家  
の玄關へ据をまする御臺は  
心靜かに膳部を終りまして  
一寸女の身姿、侍女に仰

傍の芝生の上へ暫時お輿を  
据える、金田、阿部の兩人  
も腰を屈して御前に控えま  
すと、このお大の方  
大「送りの者へ改めて申聞  
ける事は外ならず妾少し考  
へがあるから皆々是より岡  
崎へ立歸つて呉れるやう、  
供方一同、仲間小者に至る  
まで一刻も妾に構はず急ぎ  
岡崎へ歸られる様早く」  
と頻りにお急ぎ立て給ふ  
の御様子金田、阿部の兩人

## 美味! 芳醇!

## 宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

如何なる御家庭にも  
なくてはならぬ必需品……

### 高級 日の出磨粉

値段が安く而も極少量で何でもキレイになり、  
お手をアラス事なく僅かの時間で早くキレイに  
なる衛生と緊縮とを兼備せる、眞に時代の要求  
品であります是非御試用の程おすゝめ致します

特約店 芳賀商店  
平白銀町 (大音堂向)



入賞披露

最優等賞 於福島縣第九回清酒品評會  
席優等賞 於東北六縣第六回清酒品評會

濱三郡特約店 永山酒店  
平・田町 電話二〇七番



玉屋洋品店  
平町田町通電話六五六番

三井タクシー

平町丁目 電話六八五番